

# 国際理解教育の実践

## —— 実物教材資料「台湾BOX」を使って ——

前台北日本人学校 教諭

新潟県新潟市立鏡郷小学校 教諭 井口 昭夫

キーワード：現地理解教育、実物資料、思考が広がる

### 1. はじめに

#### (1) 台湾について

派遣前は台湾について何も知らなかった。恥ずかしいことに、「台湾って料理がおいしくて、中国と同じ文化圏の国かな(?)」程度である。大半の日本の方は、台湾について多くの知識をもたないであろう。しかし2年の任期が終了するころには、台湾が大好きな国になっていた。

台湾は、大変日本に近い国である(国というのは語弊がある。未だに世界の国々から、国としては、認められていない。中国が台湾を手放そうとしていないからだ)。沖縄の最西端、与那国島からわずか100キロ程度しか離れていない。晴れた日には台湾が見えるそうである。那覇よりも断然近いのが台湾である。広さは九州程度。さつまいもの形をしている。気候は、島の中央を横断している北回帰線を境に、南部は熱帯、北は亜熱帯に属する。1年を通してあまり寒くはならないが、冬にはダウンジャケットを着込むくらい寒い日もある。

台湾は、日本に負けなくらい「安心、安全な国」でもある。文化は中華圏に属するが、日本やヨーロッパのように暮らしは快適である。親日派もたくさんいる。戦時中、50年も日本が統治をしていたこともあり、日本語を使えるお年寄り(85歳以上の方)がまだ健在だ。東日本大震災の時は世界で1番多い義援金(200億円)を送ってくれた。そのほとんどは個人のものだったという。町には、日本食や日本の品物が溢れている。日本人は顔も台湾の方と同じため、外国人というストレスも感じることなく、大変暮らしやすい。

#### (2) 台北日本人学校について

令和元年5月31日現在、台北日本人学校の児童生徒数は、小学部588人、中学部197人。学級数は、小学部22クラス(特別支援学級を含む)、中学部7クラスとなっている。教職員数は、69人(派遣教員28人、現地採用教職員33人、事務室8人)で、世界の日本人学校でも大規模校となっている。現在、築30年を経て、増改築の工事中である。

### 2. 台湾BOXについて

#### (1) 「台湾BOX」とは…

以前、新潟県国際交流協会からの依頼により「フィリピンBOX」という国際理解教育のための教材を作製した。「フィリピンBOX」とは、フィリピンをより楽しくより深く知ってもらうために集めた実物資料教材のことである。それを使って小学校や大学で授業を行った。「フィリピンBOX」を使っただけの授業は、教員の説明や映像資料以上の教育的効果があった。実物資料の持つ力はすごいものである。

今回は、その台湾版、「台湾BOX」を作製した。台湾について学ぶ際に、児童が興味関心を示す実物資料を紹介する。台湾の生活用品を見たり触ったりして、それが何であるのか?また、どのように使われているのかを想像しながら、台湾について楽しく学ぶことのできる実物教材である。在任中や帰国後、それを使って授業を行った。授業後の児童の感想についても紹介したい。

## (2) 実物資料の条件

収集する資料の条件は次の2つが挙げられる。

- ①児童が見て、すぐには何かわからないもの
- ②その資料から、他の事柄にも説明を広げることのできるもの

①だが、分からないことによって児童の興味・関心を高めることができる。それが何か、想像する楽しみもある。またその名前を自分達でつけさせても楽しい活動が展開できる。

②だが、その資料から出発して、台湾の特色まで広げることのできる資料が好ましい。特に日本にはないような価値観だったり、考え方だったりするような台湾独自の文化や習慣を紹介できるような実物資料が望ましい。

パワーポイントで授業を構成し、その中で実物資料を提示していけるような授業展開がよいと思う。

## (3) 資料の実際（2時間の授業のうち1時間目はパワーポイントを使っての基礎知識。実物資料は2時間目に使用する）

1時間目 台湾の基礎知識「なるほど台湾」（パワーポイント編）

- ①「Q 台湾はどこにあるのでしょうか？」
  - ※台湾と日本の位置関係
  - A 沖縄の離島が台北のすぐ東にある
- ②「Q 台湾は何の形に似ていると言われてますか？」
  - ※台湾の面積・台湾の人口・山の様子
  - A さつまいも
- ③「台湾の国旗はどれでしょうか？」
  - ※タイ・中国・ラオス・インドネシア・ベトナムの国旗
  - 台湾の歴史について。台湾は中華民国？それとも台湾？
  - ※台湾の風景
    - いたるところに日本語の「の」を見つけることができる。
    - 台湾にあるちょっと変な日本語の看板
- ④「台湾のごみ収集車は、何が日本と大きく違うのか？」
  - ※動画 A 収集のやり方
  - ※台湾にある日本建築→風格のある素晴らしい建物が残っている。
- ⑤「台湾のレシートの工夫とは？」
  - A 台湾のレシートは宝くじがついている。だから、レシートがゴミにならない。
- ⑥「台湾のすごい建築物は、どんなエレベーターなのでしょうか？」
  - A 車が乗ることができる 台湾で見られる日本の風景 →119番、110番。温泉。
- ⑦「台湾の温泉が日本と大きく違うところは？」
  - A 水着着用する温泉が多い
- ⑧「台湾のコンビニと日本のコンビニで大きく違う点は？」
  - A イートインスペースがある。お酒をコンビニ内で飲んでもよい。
- ⑨「台北101の大晦日のパフォーマンスは？」
  - A 台北101の窓から花火が打ち上げられる。プロジェクションマッピングや出店も見られる。
- ⑩「台湾のカップルや夫婦、親子が歩くときにしていることは？」
  - A 手をつないで歩く
- ⑪「台風情報の際に放送される、この画面は何？」

2 時間目 実物資料

台湾BOX 実物資料一覧

順番	実物資料名	写真	配布	児童の活動	解説
1	吉祥絵文字 春節の飾り 「招财進宝」		全班 1つずつ (8つ)	① 各班に1枚ずつ配布。 ② なんという漢字が合わさってきた漢字かを、みんなで考える。 ③ 解答用紙に4つの文字を書かせる。 ④ 正解を知らせる。 EX「黄」+「金」+「萬」	吉祥絵文字の1つで、「招」「財」「進」「寶」の4文字を1つの字に表現してある。財を招ききが入ってくる。財運を高めて、思うがままに幸運を手に入れることができるという意味。
2	「福」を逆さにして飾る		全班 1つずつ (8つ)	① 各班に1枚ずつ配布。 ② どのようにこの文字を飾るのかをみんなで考える。 3択。1 正常 2 右に45度かたむける。 3 逆 ③ 解答用紙に答えを書かせる。 ④ 正解を知らせる。	逆さに飾る理由は、「福倒了(fú dào フーダウ)＝福を逆さまにする」が、「福到了(fú dào フーダウ)＝福が来た」と発音が同じであるから。縁起がよいので逆さにする。
3	吉祥絵文字 「喜」が2つ並んだもの 「雙喜」		全班 1つずつ (8つ)	① 各班に1枚ずつ配布。 ② なんという漢字が2文字合わさってきた漢字かを、みんなで考える。(まず、どちらが上むきかを考えさせる。) ③ 解答用紙にその2文字を書かせる。 ④ 正解を知らせる。→その後、ラーメンの映像を見せる。	「喜」が2つ並んだもので、お祝いの意味。日本ではラーメンのどんぶりに使われていることがある。 ※「黄金萬両(金運がよくなりますように!)」 実物資料(吉祥文字)
4	旧正月の爆竹飾り		全班 1つずつ (8つ)	① 各班に1本ずつ配布。 ② なぜ、これを春節(旧正月)に各家庭に飾るのかを考えさせる。 ③ 解答用紙に書かせる。 ④ 正解(爆竹の飾り)を知らせる。	爆竹には魔除けの意味があり、その昔、竹を割って火に投げ入れ、災禍をもたらす怪獣を追い払ったという伝説に基づく。 ※実物資料 「なぜ、フタが入っているのでしょうか」 旧正月の干支 日本と1つだけ違う。イノシシ×卯タロ。
5	プライドパレードの シンボルフラッグ		全班 1つずつ (8つ)	① 各班に1本ずつフラッグを配布する。 ② 黒板にはピッグフラッグを掲示する。 ③ このフラッグを何に使うかをみんなで考える。 ④ 正解を知らせる。 ⑤ プライドパレードの様子を写真で見せる。	平成18年度のプライドパレードは13万7000人が参加。アジアで初の同性婚が認められることとなった。この旗は、そのシンボル。同じような動きは各国で見ることができる。
6	毬子=ジェンズ		全班 1つずつ (8つ)	① どのように使うかをみんなで考える。 ② 解答用紙に書く。 ③ 発表する。 ④ その動画を見る。 ⑤ 班の代表がジェンズに挑戦してみる。	羽根取りで使う。足で羽根を蹴って遊ぶ。ジェンズ(毬子)と言う。中国大陸およびその周辺地域(朝鮮半島、台湾、ベトナムなど東南アジア)で行われている羽根取りゲームの羽根である。
7	ホエ(道教の占い)		全班 1つずつ (8つ)	① どのように使うかをみんなで考える。 ② 解答用紙に書く。 ③ 発表する。 ④ 各班代表者が、ホエの占いを実際にやってみる。	これは何かを決める(行う)際に、それが正しいかどうかを神様に伺うために使う。2つのホエを平らな面を合わせて両手で包むように持ち、お祈りの時と同じように、まず心の中で神様に自分の名前と住所を告げてから、「YES/NO」で答えられる質問をできるだけ具体的にする。そしてホエを地面に落とす。表と裏の組み合わせならOK。裏と裏、表と表ならもう一度。合計3回できる。そしてOKであればおみくじを引くことができる。
8	原住民族の結婚式道具 (誓いの杯)		各班 1つ	① これは何に使うか、班の友達と考える。分からなくても無理やり考える。 ② 解答用紙に書く。 ③ 発表する。	原住民族の結婚式のときに、新郎と新婦がお酒を一緒に飲むときに使用する。
9	繁体字と簡体字の コココーラボトル		各班 1つ	① この2つのコココーラのペットボトルは何が違うかを考える。 ② 解答用紙に書く。 ③ 発表する。 ④ 「繁体字」と「簡体字」のパワーポイントの説明を見る。	1つは中国の上海で作られたもの、もう1つは台湾で作られたもの、中国製品は「繁体字」でコココーラと書かれているが、台湾製品は「繁体字」でコココーラと書かれている。
10	口琴(口で奏でる楽器)		各班 1つ	① これは原住民族が使うものだが、どのように使うかを考える。 ② 解答用紙に書く。 ③ 発表する。 ④ その動画を見る。	原住民族が演奏するときに使う。「口琴」という。口でくわえて使用する。男性が女性に好意をもってもらうようなときや葬儀のときに、使ったらしい。(台湾タイヤル族・ブマ族の例を参照)
11	火炎樹の種		各班 1つ	① これは、ある木の種だということ知らせ、その木の名前とどんな木なのかみんなで想像する。 ② 解答用紙にその木を絵で描く。 ③ 発表する。 ④ パワーポイントで、その木の写真をみる。	青い空を背景に燃えるように咲く華やかな火炎樹の種である。マダガスカル島原産で、世界中の熱帯、亜熱帯に広く植栽されている常緑高木(熱帯性海岸高木)。日本では、沖縄でよく見られる。樹高は8〜15mほど。枝を大きく横に広げ、葉も水平に広がる。そのため木陰が広く涼しいため緑陰樹としてよく植えられ、暑い地域の憩いの場となっている。これは、日本人学校の庭にあった火炎樹の種である。
12	撥拉棒 (チャイニーズ ステック)		各班 1つ	① どうやって使うか考える。 ② 解答用紙に書く。 ③ 発表する。 ④ 動画を見る。	短い棒2本で、長い棒を擦る遊び。台湾の現地の小学校ではクラブがあるほど。士林区の蘭雅小学校での映像を参照。
13	八田與一さんの銅像		各班 1つ	① 台湾で一番有名な日本人、「八田與一」さんだということを知る。 ② 八田さんが台湾で何をしたかを、みんなで話し合ってみる。 ③ 解答用紙に書く。 ④ 発表する。	八田與一 台湾で尊敬される日本人の一人が日本人技師である八田與一である。八田與一が台南市に10年の歳月をかけて作ったのが烏山頭ダム。ダムは1930年の完成当時東洋一の規模を誇るものだった。烏山頭ダム建設による灌漑整備によりダム周辺は台湾最大の穀倉地帯になった。八田與一の命日は、今でもたくさんの台湾の方が集まっている。
14	李登輝元総統から いただいた文鎮		各班 1つ	① この文鎮には何と書いてあるか、みんなで考える。(ヒントカードを渡す) ② 解答用紙に書く。 ③ 発表する。 ④ 答えを聞く。	ヒントカード 「我…私。是…です。不…否定。打消しの言葉。 的…の」 この意味は、「私は私ではない私」である。他者を許す神を自分に宿すことで、自己中心的な自我が消え、他者を思う心が生まれる。そういう状態のこと。 ※李登輝さんは、たくさんの日本語の本を出版されている。
15	教育勅諭		各班 1つ	① これは何か、みんなで考える。 ② 解答用紙に書く。 ③ 発表する。 ④ 答えを聞く。	教育勅諭とは正式には「教育ニ關スル勅諭」とい。1890年(明治23年)明治天皇から國民進徳の基本と教育の根本理念を明示するために発布された。終戦後のGHQ占領下に廃止された。日本國民は①親孝行をして、②兄弟は仲良くして、③夫婦は仲つむじく、④友達とは信じ合ひ、⑤慎み深く行動して、⑥困っている人がいれば手を差し伸べ、⑦勉強や仕事を習って、⑧知恵を養ひ、⑨道徳心を身に付け、⑩進んで社会のために尽くし、⑪いつも憲法を大切に、法律を守り、⑫非業事罪になつたら勇氣を持つて國のために行動するのです。以上が教育勅諭の内容。
16	原住民族のお椀と土台		各班 1つ	① 1本の木から作ったお椀と土台を別々に渡す。 ② 何に使うかをみんなで考える。 ③ 解答用紙に書く。 ④ 発表する。	現在はこの手芸品を作ることができる。原住民族の方が少なくなっている。1本の木を削って作るこのお椀と土台は、かなりの熟練スキルが必要である。
17	京劇の人形		各班 1つ	① この人形は京劇の人形であり、京劇のまくり(顔の色)には色に意味があること知る。 ② 白の意味を考える。3択の中から選ぶ(1 正直 2 腹黒い 3 まじめ)。 ③ 解答用紙に書く。 ④ 発表する。 ⑤ 京劇やまくりの意味について、映像やパワーポイントの説明を見る。	中国の伝統的な古典演劇でもある戯曲(歌劇の一種のこと)の1つ。中国の伝統的な演劇。約2000年の歴史を持つ。歌、せりふ、立ち回りなどを組み合わせ、ことばと音楽と舞臺を融合させた総合的な演劇で、欧米などでは北京オペラと呼ばれる。胡弓(こきゅう)・月琴・銅鑼(どら)などの伴奏で、歌、せりふ、しくさ、立ち回りによりストーリーを展開する演劇。伝統的に女性の役は女形が演じたが、近年の中国では女形は減られ、女優が増えている。日本の歌舞伎のような世襲制はない。 色…赤(忠実・勇敢・善人)白(陰険・腹黒い)黒(悪意が深い・知恵がある)紫(勇ましい・権力に憧れない)黄(勇猛・気が短い)金(仙人・能力の優れた人)緑(妖怪・化け物)緑(勇猛・無敵)青(氣丈・陰険)
18	PCを守るスナック		各班 1つ	① このスナックは、どのように使うか考える。 ② ヒント PCの上や近くに置いてみる。 ③ 解答用紙に書く。 ④ 発表する。 ⑤ PCの近くに置かれた写真映像を見る。	台湾ではパソコンやテレビなどの電子機器の調子が悪い時は、この園民のお菓子「華華」を機器の上に置くとか、というオカルトがある。なぜか緑色「ココナツツ」限定。ちなみに「華華」は「いいこいいこ」の意味。「よいしょよいしょ、いい子だから動きなさいって感じ」であろう。「クワイークワイ」で「いい子いい子」って言う名前もあるし、何よりこの袋の黄緑がポイント。電子機器の正常な時の色もこの黄緑なのでそれに掛けている。

A 学校も会社もお休み連絡

⑫「台湾にある日本語名の駅はいくつあるか？」

A32 駅

※台湾の食事について

東日本大震災の際の義捐金について（200 億円）

台湾と言えば・・・台湾の常識・日本の非常識 台湾人が日本人に優しいのはなぜ？

### 3. 実践記録（平成 30 年 2 月 15 日 台北日本人学校 5 年 1 組 37 名にて実施）

帰国前の 2 月、完成した「台湾 BOX」を使い、『『台湾を知ろう！』～台湾 BOX を使って～』の授業を行って  
みた。以下、児童の感想である。

- ・東日本大震災で台湾が寄付してくれたのは知っていたけど、200 億円だとは知らなかった。あと 1 年しか台湾にいないので、もっといろいろなところに行きたいと思った。
- ・ぼくはハーフで台湾のことで有名なことなら、全て知っていると思ったけど全く分からなかった。もっと台湾のことが知りたくなった。
- ・私は台湾に 5 年住んでいましたが、知らないことがたくさんありました。台湾っていい国だなと思いました。
- ・今日、台湾の事についてクイズをした。ぼくは日本の子ども達にも台湾の事を好きになって欲しいと思った。
- ・私は台湾のことを色々この授業で知ることができました。車が乗れるエレベーターを持つマンションや台湾はさつまいもの形など、面白いことやすごいことがありました。
- ・この授業を受けて、家にもっているんじゃなくて、もっと色々なところを回りたいと思った。
- ・私は台湾と日本のハーフですが、井口先生が出した問題で分からなかった問題もありました。ちょっと恥ずかしいです。これからもっともっと色々な所へ行って、台湾のよいところを見つけたいです。
- ・台湾の知っておくべきところをいろいろ知ることができてよかったです。もっと台湾のことを知りたいです。
- ・実物資料では、原住民族の方が、結婚式にお酒を飲む道具にびっくりしました。
- ・私は井口先生が台湾をすっごく好きなんだということが分かりました。台湾のことで知らなかったことをいっぱい知ることができました。他の国でも BOX をやって欲しいです。
- ・ぼくはこの授業で台湾のことがよく分かった。特に実物資料の「我是不是我的我」という意味や台湾で使われている物などが分かってよかった。
- ・台湾に 5 年もいるのにも関わらず、まだ知らなかったり、行った事がなかったりした所があった。特に台湾で有名な、台北 101 の花火を見たいと思った。

〈授業反省〉

- 前半がパワーポイントを使っての台湾基礎知識。後半が実物資料を使っての国際理解講座と位置づけて授業を行ったが、後半の時間配分が難しかった。もっとパワーポイントを活用し、時間の短縮を図ることが大切だということが分かった。感想を見ても分かる通り、子ども達はとても楽しく意欲的に参加することができた。

### 4. 終わりに

僅か 2 年間の台湾滞在であったが、台湾の素晴らしさをたくさん知ることができた。

最初赴任したときは、あまりにも暮らしが日本に似ていて、ちょっと拍子抜けしたことを覚えている。だが、台湾に暮らすにつれ、台湾がそして台湾人が大好きになっていった。気候も 1 年中暖かく、日本ほど寒くならない。もちろん新潟のように雪を見ることはない。おいしいフルーツが年間を通して店先に並ぶ。

文化も面白い。中国文化なのだが、アメリカやヨーロッパの文化も受け入れ、台湾で売られているジュースのように混ぜ合わせて、自分のものにする逞しさも併せもつ。だけど人は優しい。そして大らかである。何度、街中でお世話になったか分からない。

そんな台湾が私は大好きである。その台湾を台北日本人学校の子どもたちに、そして日本の子どもたちに紹介するために、この「台湾BOX」を作った。作りながら、私も台湾のことを再発見することができた。内容は盛りだくさんだが、2時間で小学生でも簡単に台湾のことが学べる教材となったと思う。たくさんの子どもたちに、この素晴らしい台湾を知って欲しいと願う。